

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2009-176411(P2009-176411A)

【公開日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2009-39349(P2009-39349)

【国際特許分類】

G 1 1 B	27/10	(2006.01)
G 1 1 B	20/10	(2006.01)
G 1 1 B	27/00	(2006.01)
G 1 1 B	27/34	(2006.01)
H 0 4 N	5/93	(2006.01)
B 6 0 R	11/02	(2006.01)

【F I】

G 1 1 B	27/10	A
G 1 1 B	20/10	3 2 1 Z
G 1 1 B	27/00	D
G 1 1 B	27/34	S
H 0 4 N	5/93	Z
B 6 0 R	11/02	B

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

再生装置であって、

BD-ROMに記録されたプレイリスト情報を構成するプレイアイテム情報のインタイムにあたる位置からアウトタイムにあたる位置まで、オーディオストリームを再生するプレイリスト処理部と、

再生すべきオーディオストリームのデコードを行うオーディオデコーダと、

ユーザ操作を受け付ける操作受付部と、

プレーヤセッティングステータスレジスタとを備え、

プレーヤセッティングステータスレジスタはプレーヤープロファイル情報を格納しており、プレーヤープロファイル情報は、BD-ROMを再生する機能が、再生装置において全て実装されているか、一部省略されているかを示し、機能が省略されている再生装置には、CD再生装置と同じ程度にまで機能が制限されているオーディオプロファイルプレーヤがあり、

プレーヤープロファイル情報がオーディオプロファイルプレーヤを示すように設定された場合、再生装置は、ユーザによってCDプレーヤーライクに操作されることを特徴とする再生装置。

【請求項2】

前記操作受付部は、スキップネクストキー又はスキップバックキーの操作を受け付け、CDプレーヤーライクな操作とは、スキップネクストキー又はスキップバックキーによっ

て再生装置が操作されて、チャプタスキップを実行することであり、
前記プレイリスト情報は、プレイリストマーク情報を含み、
前記プレイリストマーク情報は、チャプター指定の対象たるプレイアイテムを示すプレイアイテムIDと、そのプレイアイテムにおける、チャプター位置を時間表記により示すマークタイムスタンプとを含む
ことを特徴とする請求項1記載の再生装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】再生装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかし、車載用途で使用されることが有り得るからといって、対話画面を介した操作を、排除するのは、再生装置の使い勝手を大きく損なうことになり、BD-ROM規格に導入されているような、多くの、対話画面に対する改良が活用されないことになるからである。

本発明の目的は、再生装置の使い勝手を大きく損なうことなく、再生装置が自動車内に設置された場合の制御を好適に行うことができる再生装置を提供することである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明にかかる再生装置は、再生装置であって、BD-ROMに記録されたプレイリスト情報を構成するプレイアイテム情報のインタイムにあたる位置からアウトタイムにあたる位置まで、オーディオストリームを再生するプレイリスト処理部と、再生すべきオーディオストリームのデコードを行うオーディオデコーダと、ユーザ操作を受け付ける操作受付部と、プレーヤセッティングステータスレジスタとを備え、プレーヤセッティングステータスレジスタはプレーヤープロファイル情報を格納しており、プレーヤープロファイル情報は、BD-ROMを再生する機能が、再生装置において全て実装されているか、一部省略されているかを示し、機能が省略されている再生装置には、CD再生装置と同じ程度にまで機能が制限されているオーディオプロファイルプレーヤがあり、プレーヤープロファイル情報がオーディオプロファイルプレーヤを示すように設定された場合、再生装置は、ユーザによってCDプレーヤーライクに操作されることを特徴としている。